

# 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費

予算額	2,068,973千円	(前年度	1,707,213千円)
うち道費	486千円	(前年度	608千円)

## 1 事業の目的

本道酪農・畜産は、地域の経済・社会を支える基幹産業として重要な役割を担っているが、配合飼料価格が高止まりする中、高齢化や離農が進み農家戸数や飼養頭数が減少するなど、生産基盤の維持・強化が緊急の課題となっている。

このため、地域全体で収益性の向上を図り、競争力を強化する必要があることから、畜産経営の収益力の向上や飼料生産組織の経営高度化、畜産環境問題への対応など、畜産クラスター計画に基づく地域の中心的な経営体等が行う施設の整備等を支援する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	補助率	事業実施主体	予算額
整備事業費 補助金	○地域の中心的な経営体が行う家畜飼養管理施設の整備等の支援	1/2 以内	畜産クラスター協議会	1,805,000 ( 0)
畜産環境対策総合支援事業	○土づくり堆肥の生産・流通支援	定額 1/2 以内	畜産クラスター協議会	263,000 ( 0)
計画策定指導推進費	○畜産クラスター計画の策定指導や事業実施に係る検査・指導等	—	北海道	973 ( 486)
合計				2,068,973 ( 486)

## 3 事業実施期間

平成27年度（2015年度）～

〔担当：農政部生産振興局畜産振興課〕  
(内線 27-762)

# 北海道肉用牛生産振興事業費（新規）

予 算 額	9,727千円（前年度 ー千円）
うち道費	9,727千円（前年度 ー千円）

## 1 事業の目的

北海道の肉用牛生産振興のため、高騰する飼料コスト削減が期待できる早期肥育の導入や令和9年（2027年）に開催される全国和牛能力共進会を契機とした道産牛肉のブランド力向上に向けた取組を支援する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	補助率	事業実施主体	予算額
早期肥育技術の実証	○モデル農家における早期肥育技術の実証  ○研修会の開催等	1/2以内	(一社)北海道酪農畜産協会	6,740 (6,740)
ブランド力の向上	○ブランド力向上のための検討会開催  ○PR資材作成等	1/2以内	(一社)北海道酪農畜産協会	1,922 (1,922)
道推進指導	○巡回指導等	—	北海道	1,065 (1,065)
合 計				9,727 (9,727)

## 3 事業実施期間

令和6年度（2024年度）～令和8年度（2026年度）

〔 担当：農政部生産振興局畜産振興課  
（内線 27-756） 〕

# 北海道和牛繁殖基盤造成事業費

予 算 額	2,013千円 (前年度 2,516千円)
うち道費	2,013千円 (前年度 2,516千円)

## 1 事業の目的

北海道和牛の競争力強化とブランドの確立に向けて、これまで造成してきた和牛改良組合等の優良な繁殖雌牛群に、食味などに優れた種雄牛を交配し、産まれてきた雌牛にゲノミック評価を行い、さらなる絞り込みを実施することで、早期にトップエリート牛群を造成する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	補助率	事業実施主体	予算額
和牛繁殖基盤の造成	○トップエリート牛群の造成 ・和牛改良組合等が行うゲノミック評価を活用したトップエリート牛群づくりに対する取組を支援	1/2以内	(一社)北海道酪農畜産協会	1,679 (1,679)
道推進費	○和牛繁殖基盤の造成 ・優良繁殖雌牛確保への指導	—	北海道	334 ( 334)
合 計				2,013 (2,013)

## 3 事業実施期間

令和3年度(2021年度)～令和7年度(2025年度)

〔 担当：農政部生産振興局畜産振興課  
(内線 27-756) 〕

# 経営体質強化に向けた牛群改良加速化事業費

予算額	38,238千円(前年度 38,238千円)
うち道費	38,238千円(前年度 38,238千円)

## 1 事業の目的

本道の酪農は、全国の生乳生産量の6割を占め、我が国における本道酪農の役割はますます重要となっている。このため、酪農情勢の変化に対応し、経営体質の強化や生産基盤の充実を図るため、ゲノミック評価技術を活用した乳牛改良の加速化を推進する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	補助率	事業実施主体	予算額
モデル事業	○モデル農家のゲノミック評価技術の活用による牛群改良の実践	定額 1/2以内	(公社)北海道酪農検 定検査協会	36,953 (36,953)
道推進 指導費	○検討会議の開催等	—	北海道	1,285 (1,285)
合計				38,238 (38,238)

## 3 事業実施期間

令和5年度(2023年度)～令和8年度(2026年度)

〔 担当：農政部生産振興局畜産振興課  
(内線27-773) 〕

# 北海道めん羊生産飼養技術向上事業費(新規)

予 算 額	1,000千円 (前年度 一千円)
うち道費	1,000千円 (前年度 一千円)

## 1 事業の目的

本道のめん羊の更なる生産振興を図るため、めん羊の繁殖・管理技術の向上に向け、地域における生産体制強化の取組を推進する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	補助率	事業実施主体	予算額
生産振興連携体制の強化	○めん羊生産関係者による連携強化推進会議の開催	—	北海道	260 ( 260)
飼養技術向上支援	○飼養管理技術指導の取組を支援	定額	北海道めん羊協議会	740 ( 740)
合 計				1,000 (1,000)

## 3 事業実施期間

令和6年度(2024年度)～令和8年度(2026年度)

〔 担当：農政部生産振興局畜産振興課  
(内線 27-778) 〕

# 飼料生産基盤フル活用事業費（新規）

予 算 額	4,828千円（前年度 － 千円）
うち道費	4,828千円（前年度 － 千円）

## 1 事業の目的

本道の酪農畜産経営を持続的に発展させていくため、恵まれた土地資源を活かした、良質な自給飼料の生産と利用の拡大を進め、道内における飼料生産基盤のフル活用に向けた道産飼料の生産拡大や耕畜連携の取組を推進する。

## 2 事業の内容

（単位：千円）

区 分	事 業 内 容	予算額
推進体制 整備	○自給飼料の生産拡大及び耕畜連携の推進に向けた検討会の開催	
調査研究	○耕畜連携等の優良事例調査 ○稲WCS導入に係るマニュアル、耕畜連携の優良事例の資料作成 ○乳用牛への稲WCS給与に係る試験研究委託	3,141 (3,141)
普及啓発	○植生改善や畜産・耕種農家のマッチングに向けたセミナーの開催	1,687 (1,687)
合 計		4,828 (4,828)

## 3 事業実施主体

北海道

## 4 事業実施期間

令和6年度（2024年度）～令和8年度（2026年度）

（担当：農政部生産振興局畜産振興課）  
（内線 27-768）

# 地域衛生管理体制整備事業費補助金

予算額	43,810千円	(前年度	46,988千円)
うち道費	0千円	(前年度	0千円)

## 1 事業の目的

健康な家畜の生産により、北海道における安全かつ安定的な畜産物の供給を図るため、行政、生産者、獣医師等の畜産関係者が一体となった家畜の伝染性疾病の発生予防及びまん延防止の仕組みづくりや、地域内の各種伝染性疾病の清浄性確認・維持等の取組を推進する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	補助率	予算額
地域衛生管理体制整備事業費補助金	<p>○ 地域における家畜の伝染性疾病の防疫上、特に対策を講じる必要がある疾病について、事業実施主体が地域検討委員会を開催のうえで実施する、対策等マニュアルの作成、講習会の開催、清浄性維持のための検査等の地域自衛防疫体制整備に対し、あるいは、家畜飼養農場の飼養衛生管理向上のための施設整備等に対し補助金を交付。</p> <p>(1) 地区推進事業 (2) 野生動物侵入防止柵整備 (3) 離乳豚舎前室整備</p>	1/2以内	43,810 ( 0)
合計			43,810 ( 0)

## 3 事業実施主体

市町村、農業協同組合、自衛防疫の推進等家畜衛生の向上を目的とする団体、生産者の組織する団体等

## 4 事業実施期間

平成18年度(2006年度)～

〔担当：農政部生産振興局畜産振興課  
(内線27-758)〕

# 養蜂指導費

予算額	1,900千円	(前年度	1,931千円)
うち道費	0千円	(前年度	0千円)

## 1 事業の目的

蜜源の分布状況を把握し、蜜蜂の群の適正な入地調整を推進することにより、蜂蜜及び蜜ろうの増産を図り、併せて農作物等の花粉交配の効率化を図る。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	予算額
推進事業委託費	○蜜源（蜂蜜等資源）植生状況の調査 ○蜜蜂花粉交配実態の調査	1,257 ( 0)
道指導費	○蜜蜂転飼調整 ○転飼許可証の交付 ○養蜂技術研修会の実施	643 ( 0)
合計		1,900 ( 0)

## 3 事業実施主体

北海道

## 4 事業実施期間

昭和30年度（1955年度）～

（ 担当：農政部生産振興局畜産振興課  
（内線27-778）



# 酪農畜産行政推進費

予算額	27,189千円	(前年度	26,223千円)
うち道費	0千円	(前年度	0千円)

## 1 事業の目的

地方競馬全国協会、(独)農畜産業振興機構、(公社)日本軽種馬協会、(一財)畜産環境整備機構が実施する補助事業を円滑に推進するため、北海道が事務を受託し、実施するほか、家畜商法、家畜改良増殖法、養鶏振興法、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律に基づく検査・指導業務等を行う。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	事業実施期間	予算額
酪農畜産行政推進費	○地方競馬全国協会が行う補助事業等の受託事務	S37(1962)～	3,012 ( 0)
畜産経営安定対策調査費	○(独)農畜産業振興機構、(公社)日本軽種馬協会及び(一財)畜産環境整備機構が行う補助事業等の受託事務	S49(1974)～	22,074 ( 0)
家畜取引改善指導事業費	○家畜商法に基づく講習会の開催、家畜商立入検査の実施、家畜市場の指導監督	S31(1956)～	228 ( 0)
家畜改良指導費	○家畜改良増殖法に基づく種畜検査、家畜人工授精師免許証及び家畜人工授精所開設許可証の交付事務のほか養鶏振興法に基づくふ化業者登録等の実施	S59(1984)～	1,139 ( 0)
畜舎特例法推進事業費	○畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律に基づく畜舎の認定申請審査・指導監督業務	R4(2022)～	736 ( 0)
合計			27,189 ( 0)

## 3 事業実施主体

北海道

〔 担当：農政部生産振興局畜産振興課  
(内線27-755、27-772、27-757、27-778、27-785) 〕

# 家畜伝染病予防費

予算額	2,522,757千円(前年度 1,836,001千円)
うち道費	177,306千円(前年度 84,616千円)

## 1 事業の目的

家畜伝染病予防法（昭和26年5月31日法律第166号）に基づき、牛、馬、豚、鶏及び蜜蜂の検査、注射等を行い、各種伝染病の発生予防及びまん延防止対策を推進する。

また、海外悪性伝染病にあつては、原因不明疾病対策、輸移入家畜の着地検査、来道者対策の推進等により、道内への侵入防止を徹底するとともに、万一の発生に備えたまん延防止体制を整備する。

## 2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	予算額
家畜伝染病予防事業費	○牛の伝染性疾病検査（ヨネ病、ブルセラ症、結核等） ○馬の伝染性疾病検査（馬パルチス、馬鼻肺炎等） ○中小家畜伝染性疾病検査（高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、ホエスキー病等） ○蜜蜂の腐蛆病検査 ○家畜伝染性疾病予防対策費（着地検査、来道者水際防疫対策等） ○家畜衛生諸費（飼養衛生管理基準立入検査、精度管理他）	921,263 (151,584)
高病原性鳥インフルエンザ等海外悪性伝染病対策事業費	○発生時防疫対策 ○緊急資材の備蓄・更新 ○緊急消毒命令	1,601,494 (25,722)
合計		2,522,757 (177,306)

## 3 事業実施主体

北海道

## 4 事業実施期間

昭和26年度（1951年度）～

〔担当：農政部生産振興局畜産振興課〕  
(内線27-791)